

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ビジネス・コミュニケーション論(Business Communication Studies)		
ナンバリングコード	E20202	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 経営学
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 後期
必修・選択区分	選択:経営経済学科 コース選択必修:情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E049051	クラス名	-
担当教員名	橋本 堅次郎、小久保 雄介		
履修上の注意、 履修条件	各種ワークを実施するので、積極的に参加できない者は単位取得上かなり厳しいです。 また、履修制限(30名まで)を行いますのでご了承ください。		
教科書	教科書は特に指定しません		
参考文献及び指定図書	授業内で参考図書を提示します。興味を持った場合はそちらを参照してください。		
関連科目	経営組織論A、経営組織論B、経営学入門、経営学総論		

○基本情報		
授業の目的	この授業で身につけて欲しい内容は以下のようになります。 1. 個人レベルから組織レベルまでのコミュニケーション理論を体系的に理解する 2. 各段階でのコミュニケーションスキルを実践的に習得する 3. 日常生活やビジネス場面で効果的なコミュニケーションを実践できる 4. 自己のコミュニケーション能力を客観的に分析・改善できる これらも身につけることにより、ビジネスの場におけるコミュニケーションについての知識やスキルを身に着けます。近年、企業が採用選考時に最も重視する能力は、「コミュニケーション能力」と言われており、円滑にビジネスを行うために一般の生活とは異なるビジネス特有の「ビジネス・コミュニケーション」が必要とされます。これらをワークを行いながら理解・実践することを目的とします。	
授業の概要	授業では、ビジネス・コミュニケーションにおける各種理論を理解してもらった後に各種ワークを実践していきます。一対一から始まり、グループでのコミュニケーションを実践してもらいます。授業後には必要な知識が身についているかの小テストとコミュニケーションを行った結果に対する振り返りを行います。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「ディスカッション、ディベート」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	本授業に関する実務経験として、コンサルタント会社における経営指導経験、食品業(東証1部)における上場担当取締役、管理本部長としての経験、個人事業主としての起業経験あり。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	ビジネスにおけるコミュニケーション能力を向上させようとする意識が見られ、他社の意見を聞きつつ自分の意見を相手に伝えることができる		15点	10点
【知識・理解】	ビジネス・コミュニケーションに関する理論を理解し、それらを用いながら実践をすることができる。	10点	15点	
【技能・表現・コミュニケーション】	習得した技法を用いて各種ワークを実践することができる。	10点	15点	10点
【思考・判断・創造】	ビジネス・コミュニケーションに関する理論を活用しながら各種ワークを実践し、その後の振り返り、フィードバックを活用しながらより良いコミュニケーションを行うことができる		15点	
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
詳細な評価は以下の様になります 毎回の小テスト・振り返り:30% 実践課題・プレゼンテーション:30% グループワーク参加度:20% 期末試験:20%				

○その他

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	ビジネス・コミュニケーション論(Business Communication Studi 橋本 堅次郎、小久保 雄介	授業コード	E049051
学修内容				
1. オリエンテーション、コミュニケーションの基本概念				
理論について				
・コミュニケーションの定義、要素、プロセス・授業の概要と目標				
演習内容				
・個人ワーク: 自己コミュニケーションスタイル診断;・グループワーク: コミュニケーション体験共有				
予習	履修制限のための課題実施			約2時間
復習	オンライン小テスト・振り返りシートの記入			約2時間
2. 個人のコミュニケーションスキル①自己認識と表現力				
理論について				
・自己概念理論;・自己開示・表現力の構成要素				
演習内容				
・自己紹介スキル練習・感情表現練習・個人ワーク: 自己分析シート作成				
予習	理論・演習についての下準備(前週に指示をする)			約2時間
復習	オンライン小テスト・振り返りシートの記入			約2時間
3. 個人のコミュニケーションスキル②聞く力と非言語コミュニケーション				
理論について				
・傾聴理論・非言語コミュニケーション理論				
演習内容				
・ペアワーク: アクティブリスニング実習・グループワーク: ボディランゲージ観察・実践				
予習	理論・演習についての下準備(前週に指示をする)			約2時間
復習	オンライン小テスト・振り返りシートの記入。実生活での実践をしてみる			約2時間
4. 実生活におけるコミュニケーション実践の振り返り、個人スキルの実践検証				
理論について				
・実践理論の検証;・改善プロセス理論				
演習内容				
・実践課題発表・共有・成功事例・課題分析・グループディスカッション: 改善策検討				
予習	理論・演習についての下準備(前週に指示をする)			約2時間
復習	オンライン小テスト・振り返りシートの記入。実生活での実践をしてみる			約2時間
5. 2名の対人関係におけるコミュニケーション①対人関係理論と信頼構築				
理論について				
・対人関係形成理論;・信頼構築プロセス				
演習内容				
・コミュニケーションゲーム「信頼の橋」・ペアワーク: 相互理解対話技法				
予習	理論・演習についての下準備(前週に指示をする)			約2時間
復習	オンライン小テスト・振り返りシートの記入。実生活での実践をしてみる、対人関係改善の実践をしてみる			約2時間
6. プレゼンテーション技法				
理論について				
・ロジカルシンキング・構成の理論				
演習内容				
・模擬プレゼンテーション作成、実施: フィードバック				
予習	理論・演習についての下準備(前週に指示をする)			約2時間
復習	オンライン小テスト・振り返りシートの記入。実生活での実践をしてみる			約2時間
7. 複数人コミュニケーションの実践、小集団での対話技術				
理論について				
・集団力学の基礎・チームワーク理論				
演習内容				
・コミュニケーションゲーム「合意形成チャレンジ」・3-4人グループ課題解決ワーク・役割分担・協働体験				
予習	理論・演習についての下準備(前週に指示をする)			約2時間
復習	オンライン小テスト・振り返りシートの記入。実生活での実践をしてみる			約2時間
8. グループにおけるコミュニケーション①集団意思決定とリーダーシップ				
理論について				
・集団意思決定理論・リーダーシップスタイル理論				
演習内容				
・グループディスカッション進行技法・模擬会議運営体験・リーダー・フォロワー役割交代				
予習	理論・演習についての下準備(前週に指示をする)			約2時間
復習	オンライン小テスト・振り返りシートの記入。実生活での実践をしてみる			約2時間

○授業計画		科目名 担当教員	ビジネス・コミュニケーション論(Business Communication Studies) 橋本 堅次郎、小久保 雄介	授業コード	E049051
学修内容					
9. グループにおけるコミュニケーション②対立解決と合意形成					
理論について					
・コンフリクト理論・調停、仲裁技法					
演習内容					
・対立場面ロールプレイ・利害異なる場面での合意形成・ファシリテーション技法習得					
予習	理論・演習についての下準備(前週に指示をする)				約2時間
復習	オンライン小テスト・振り返りシートの記入				約2時間
10. 組織におけるコミュニケーション、対面集団と非対面集団					
理論について					
・組織論とコミュニケーションを巡る理論・成功循環モデル					
演習内容					
予習	理論・演習についての下準備(前週に指示をする)				約2時間
復習	オンライン小テスト・振り返りシートの記入				約2時間
11. プロジェクトにおけるコミュニケーション①理論編					
理論について					
・GRPIIについて					
予習	理論・演習についての下準備(前週に指示をする)				約2時間
復習	オンライン小テスト・振り返りシートの記入				約2時間
12. プロジェクトにおけるコミュニケーション②実践編					
演習内容					
企画作成プロジェクト①					
予習	理論・演習についての下準備(前週に指示をする)				約2時間
復習	演習の不足分を実施する。オンライン小テスト・振り返りシートの記入				約2時間
13. プロジェクトにおけるコミュニケーション③実践編					
演習内容					
企画作成プロジェクト②					
予習	理論・演習についての下準備(前週に指示をする)				約2時間
復習	演習の不足分を実施する。オンライン小テスト・振り返りシートの記入				約2時間
14. プレゼンテーション					
演習内容					
各チームのプレゼンテーションとフィードバック					
予習	プレゼンテーション作成・練習				約2時間
復習	オンライン小テスト・振り返りシートの記入				約2時間
15. 授業のまとめと振り返り					
ここまでの授業のまとめと振り返りを実施します。					
予習	ここまでの学習内容を復習する				約2時間
復習	試験に向けての勉強				約2時間
16. 期末試験					
期末試験は60分で実施する					
予習					
復習					